

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.87

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 ****



2面
かめさん食堂
福原 裕子 (ふくはら ゆうこ) さん



3面
**NPO・ACT練馬たすけあい
ワーカーズ ふろしき**
馬淵 さおり (まぶち さおり) さん



「税理士による会計・税務相談」を 活用してみませんか?

練馬区立区民協働交流センターでは、練馬区で活動するNPO等の地域活動団体を対象に、
税理士による会計・税務相談を毎月実施しています(事前予約制)。
団体の会計・税務について相談したい方はぜひご利用ください。
(相談例：団体の確定申告について、助成金申請に必要な会計書類について等)

【実施日時】 毎月第3火曜日 13時～16時(1団体あたり50分間)
※事前予約制です。申し込み多数の場合は先着順とします。
※第3火曜日が祝日等の場合は、翌日以降に実施します。

【担当税理士】 船木 雅子 氏 (東京税理士会練馬西支部所属)

【予約方法】 実施日の1週間前までに、窓口・電話・メール等にて



【問い合わせ・申し込み先】 練馬区立区民協働交流センター TEL：03-6757-2025 FAX：03-6757-2026
E-mail：KYODOSUISHIN02@city.nerima.tokyo.jp

子どもたちの心休まる「居場所」を目指して

かめさん食堂



代表の福原 裕子さん

毎週火曜日の夕方、石神井台にあるシェアキッチン[RSPACE]に、親子連れや子どもたちが集まってきます。ここは福原さんが代表を務める「かめさん食堂」。2022年8月にスタートしたこども食堂で、子どもたちとその保護者に無料で夕食を提供しています(大人の場合は1食500円)。

「コロナ禍で休校になり、家に居場所がない子どもたちはどうしているんだろうと。私自身、



スタッフと2人で手際良く料理を作る福原さん。次々と完成していく料理は、どれも野菜たっぷりでおいしそう♪

家庭に問題があり学校生活に救われていた経験があるので、居てもたってもいられなくなり始めたのがフードドライブのボラ

ンティアでした」と福原さんは振り返ります。その2年半後、フードドライブに取り組む団体から食材提供を受け、自己資金で子ども食堂を始めました。

「最初の1か月ほどは誰も来なくて料理が全部残ってしまうこともありましたが、知り合いや地域団体の紹介で徐々に広まり、多くの人たちが来てくれるようになりました」と福原さん。地域とのつながりも増え、今では

寄付の申し出や助成金を受けることができました。

メニューは肉を使った主菜と3種類の副菜、汁物とご飯が基本でお代わりは自由。毎回30食分以上を用意し、食堂で食べる人、お弁当



イラストレーターを目指しているという小学6年生が描いた看板が目印

で持って帰る人、それぞれの希望に合わせて提供しています。

育ち盛りの子どものため

に、醤油や油など調味料には特に気を遣っています。野菜や冷凍品、業務用食材など届いた食材を見て献立を考え、短時間で一気に料理を仕上げ

ていく様子は、まるで魔法使いのよう! 調理を進める間にも次々と子どもたちが集まり、思い思いに過ごしながら夕食を待っています。

「困っている度合いが高いほど、声に出して人には言えないもの。ここは食事を提供するだけの場に徹底し、あえてこちらから声をかけることはしませんが、そんな人たちの心休まる居場所になれたらいいなと思っています」と福原さんは微笑みます。

今後は、作った料理を真空にして冷凍し、食堂へ足を運べない家庭に届けて回りたいという構想もあるとのこと。福原さんの奮闘はまだ続きます。

■かめさん食堂

代表: 福原 裕子

TEL: 070-9080-1760

Instagram: @kamesan_shokudo

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■公益財団法人 洲崎福祉財団「一般助成」

【助成対象】障害児(者)の自立と福祉向上を目的とした各種活動および障害児(者)に対する自助・自立の支援事業

【助成金額】1件あたりの上限額: 福祉車両・施設工事 300万円 / 一般車両・物品購入・その他 200万円

【応募期限】2024年8月17日

【関連URL】<https://swf.or.jp/josei/>

【問い合わせ】公益財団法人 洲崎福祉財団 事務局
〒103-0022 中央区日本橋室町3-2-1 日本橋室町三井タワー15階 TEL: 03-6870-2019

■社会福祉法人 松の花基金「助成金」

【助成対象】知的障害児(者)の福祉向上のために行われる事業や調査研究およびそれに附随する事業

【助成金額】1件あたりの助成額: 50~100万円程度

【応募期限】2024年8月31日

【関連URL】<http://matsunohana.jp/grant.html>

【問い合わせ】社会福祉法人 松の花基金

〒103-0004 中央区東日本橋1-7-2 長坂ビル

TEL: 03-5848-3645 FAX: 03-3861-8529

地域で安心して暮らすために助け合う

NPO・ACT練馬たすけあいワーカーズふろしき



理事長の馬淵 さおりさん(左)とメンバーの皆さん

西武池袋線豊島園駅の目の前にある「NPO・ACT練馬たすけあいワーカーズ ふろしき(以下、ふろしき)」。1992年、住み慣れた地域で長く暮らしたいという人のために、必要なことを手助けする活動をスタートしました。たすける側もたすけられる側も、同じ地域に住む人たち。地域の子育て世代から介護が必要な高齢者まで、すべてを風呂敷のように包み込むサービスを目指しています。



相談情報ひろば「ふろしき・ねこの手」で人気だという「お習字の会」は、毎月第2火曜に開催されています

設立当初から活動の中核を担っているのは訪問介護事業。約60名いるメンバーのうち、約30数名が介護職として働いています。そのほか、相談情報ひろば事業や「ふろしきこども食堂」、ふろしきキッチンなど多くの事業があり、それぞれのメンバーがたすけあって活動しています。取材に伺った事業は、相談情報ひろば「ふろしき・ねこの手」。誰でも利用可能な交流の場として、介護の悩みや子育ての相談などにメンバーがアドバイスをしています。

「お茶を飲みながらおしゃべりするカフェやお習字の会など、定期的で開催している企画も人気なんですよ」と理事長の馬淵さん。

月に何度も通っているという女性は、「家で1人で食事するのは寂しいけれど、ここへ来ればみんなで一緒に食べたり話をしたりできるので楽しい」と話してくれま



活動費をまかなうために始めたレンタルボックス(1枠500円/月)

した。毎月第1・3火曜日は「ふろしき食堂」も実施しており、何年も通っている常連さんが多いそうです。

2022年からは毎月第2・第4日曜の午後、氷川台にあるデイサービスの一角を借りて、子育て広場「だるまちゃんち」を開催。ルールはできるだけ設けず、ゲームも遊びも自由。のびのびと遊べるよう支援しています。毎回20名ほどの小学生や子連れの親子が集まります。

「行政に頼るだけでなく、地域で助け合う意識も大切。そのうえで、介護保険や公共のサービスではできないことを、取りこぼしのないようサポートしていきたいと思います」と馬淵さんは言います。

一緒に活動するメンバーは随時募集中。興味のある方はぜひご連絡を! イベントや食堂をご希望の方はご予約ください。

■ NPO・ACT練馬たすけあいワーカーズ ふろしき
理事長: 馬淵 さおり
住所: 練馬区練馬 4-17-2-102
TEL: 03-3948-3390



■ 公益財団法人 バリューHR健康寿命延伸財団「助成金」
【助成対象】健康寿命の延伸に寄与する啓発および日常生活を支援する活動の提案、事業化計画・企画構想を持つ個人または組織
【助成金額】1件あたりの上限額: 150万円
【応募期限】2024年8月31日
【関連URL】<https://www.vhrkenkozaidan.or.jp/jyoseikin.html>
【問い合わせ】公益財団法人 バリューHR健康寿命延伸財団
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-21-14 バリューHRビル内
TEL: 03-6384-2801 E-mail: info@vhrkenkozaidan.or.jp

■ 公益財団法人 ベネッセこども基金
「重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成」
【助成対象】重い病気により長期入院や長期療養をしている子どもの意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業を行っている非営利団体。特に、課題解決に向けた問題提起やユニークな視点を含んだ企画であり、同じ課題に取り組む人たちが参考にできるモデルとなることが期待できる活動を重視します。
【助成金額】1件あたりの助成額: 50~200万円程度
【応募期限】2024年8月30日
【関連URL】<https://benesse-kodomokikin.or.jp>
【問い合わせ】公益財団法人 ベネッセこども基金
〒206-8686 多摩市落合1-34 TEL: 04-7137-2570 (平日10時~17時) E-mail: kodomokikin@grop.co.jp

練馬つながるフェスタ in 石神井 を開催します!!



8月3日(土) 13時～15時
石神井公園区民交流センター2階
集会室兼展示室
 (石神井町2-14-1 石神井公園ピアレス内)

「練馬つながるフェスタ(つなフェス)」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを「見て・聞いて!知って!」たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。練馬つながるフェスタ in 石神井では、ワークショップ・物品販売を行いますので、ぜひ、会場へお越しください。詳しい内容は、練馬区公式ホームページをご覧ください。

詳細はこちら→



令和6年度 (区からの委託事業)

生活習慣病に関する講座等を企画・実施する団体を募集

地域において、自主・自立的に生活習慣病予防に取り組む環境づくりを目指すため、生活習慣病の予防や生活習慣の改善を目的とした講座等を企画・実施する団体を募集します。

【対象(受託できる団体の基準)】

形態(法人・NPO・任意団体など)に指定はありませんが、健康づくりに関心を持つ団体であって、以下の要件を全て満たすことが必要です。

- ・団体構成員の半数以上が練馬区在住または在勤者であること。
- ・練馬区内に活動拠点があること。
- ・政治活動、宗教活動、営利活動を目的とした団体、公序良俗に反する団体でないこと。

【委託内容】

- 講座内容 高血圧や糖尿病予防のための食事教室やウォーキング運動講座など。
- 実施期間 令和6年5月～令和7年2月の間で講座等を実施してください。
- 委託料 25,000円
※実際の経費で25,000円を超過した分は各団体の負担となります。

【応募】

講座等を実施する1か月前までに「実施計画書」を下記の提出先まで直接ご持参ください。(講座等の実施日の1か月前の日が土曜日、日曜日、祝日の場合は、翌営業日まで)

【審査・選考】

申込順に、「実施計画書」の内容に基づいて審査および選考を行います。審査および選考の結果は文書により通知します。今年度の委託予定数は6団体です。

【提出先】 国保年金課 保健事業担当係 (区役所本庁舎3階)
 TEL: 03-5984-4713

事業の概要はこちら↓

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/nenkinhoken/kokuminkenkohoken/hokenkenkoshinsa/tiikidanntai.html>



練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。



<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>



https://twitter.com/kyodo_nerima



ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)
 事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL:03-3577-5666